

結果の概要

【第14回調査（平成13年出生児）】

1 母の就業状況の変化

母が有職の割合は年々増加し、第14回調査（中学2年生）では79.3%となっている

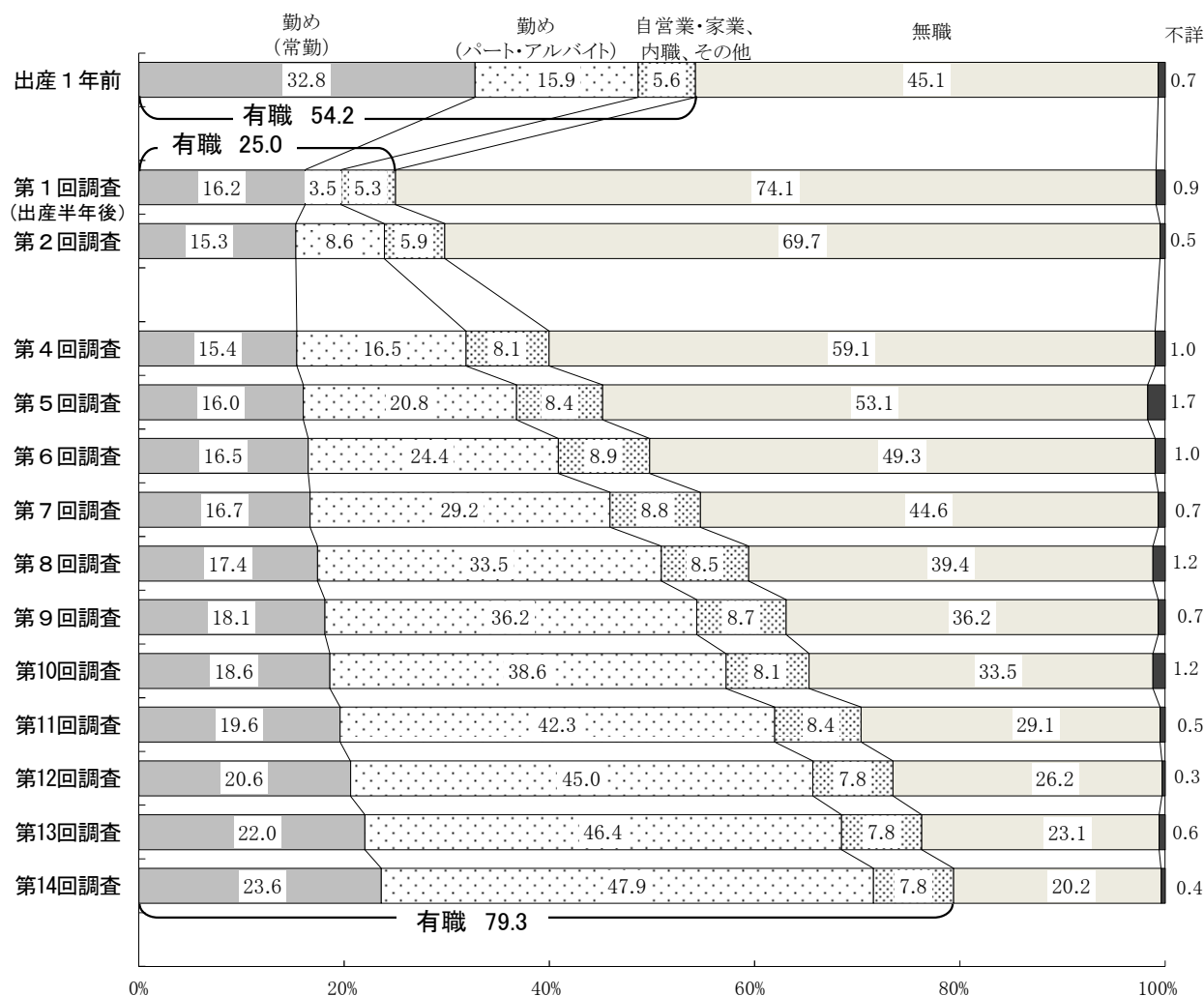
母が有職の割合は、出産1年前の54.2%が、第1回調査（出産半年後）で25.0%に減少したが、その後は年々増加し、第14回調査（中学2年生）では79.3%となっている。

母の就業状況の変化をみると、「勤め（パート・アルバイト）」の割合は、第1回調査（出産半年後）の3.5%から年々増加し、第14回調査では47.9%となっており、「勤め（常勤）」の割合は、第4回調査（15.4%）から徐々に増加し、第14回調査では23.6%となっている。（図1）

また、第13回調査（中学1年生）から第14回調査（中学2年生）の変化をみると、第13回調査で「無職」であった母のうち、25.4%が「有職」となり、その内訳では「勤め（パート・アルバイト）」が最も多くなっている（表1）。

第14回調査の母の就業状況をきょうだい構成別にみると、「有職」の割合は「弟妹のみ」（77.7%）と「兄姉のみ」（82.0%）では、「兄姉のみ」の方が4.3ポイント高くなっている（表2）。

図1 母の就業状況の変化



注: 1) 第1回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者(総数 24,265)を集計。
2) 第3回調査は母の就業状況を調査していない。

表1 第13回調査の母の就業状況別にみた第14回調査の母の就業状況

(単位:%)

第14回調査 (中学2年生)	第13回調査 (中学1年生)	総数 ²⁾	無職	(再掲)		有職	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他	
				仕事を 探して いる	仕事を 探して いない							
総数 ²⁾		(100.0)	100.0	20.2	5.6	13.9	79.3	23.6	47.9	6.3	1.0	0.6
無職		(23.1)	100.0	74.2	17.2	54.5	25.4	2.2	19.8	2.0	1.0	0.4
(再掲) 仕事を探している		(6.7)	100.0	51.6	34.5	15.7	47.9	5.7	39.2	1.6	1.0	0.4
(再掲) 仕事を探していない		(15.6)	100.0	83.9	10.2	71.6	15.7	0.5	11.7	2.0	1.0	0.4
有職		(76.3)	100.0	3.9	2.1	1.6	95.6	30.0	56.4	7.6	1.0	0.6
勤め(常勤)		(22.0)	100.0	1.7	1.1	0.4	97.8	91.8	4.6	1.0	-	0.3
勤め(パート・アルバイト)		(46.4)	100.0	4.6	2.7	1.7	95.1	5.2	88.7	0.8	0.2	0.2
自営業・家業		(6.1)	100.0	4.8	0.9	3.6	94.7	2.5	6.6	84.2	0.4	1.1
内職		(1.1)	100.0	14.5	5.4	8.0	84.8	1.1	26.1	1.8	54.3	1.4
その他		(0.6)	100.0	11.9	5.9	5.9	85.2	12.6	25.9	5.9	1.5	39.3

注:1)第1回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者(総数 24,265)を集計。

2)総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

3) は、就業状況に変化のないものである。

表2 きょうだい構成別にみた母の就業状況【第14回調査】

(単位:%)

母の就業状況	きょうだい構成 ²⁾	総数 ³⁾	無職	有職	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他
ひとり(対象児本人のみ)	(15.1)	100.0	22.0	77.4	27.4	42.2	6.1	0.9	0.8
弟妹のみ	(37.0)	100.0	21.9	77.7	22.6	47.8	5.7	1.0	0.6
兄姉のみ	(36.9)	100.0	17.5	82.0	24.7	49.5	6.5	0.7	0.5
兄弟姉妹あり	(11.0)	100.0	19.6	80.0	23.2	46.5	8.7	1.1	0.5

注:1)第14回調査の回答を得た者のうち、「母と同居」の者(総数 29,022)を集計。

2)きょうだい構成は、調査対象児と同居している兄弟姉妹の構成をいう。

3)総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

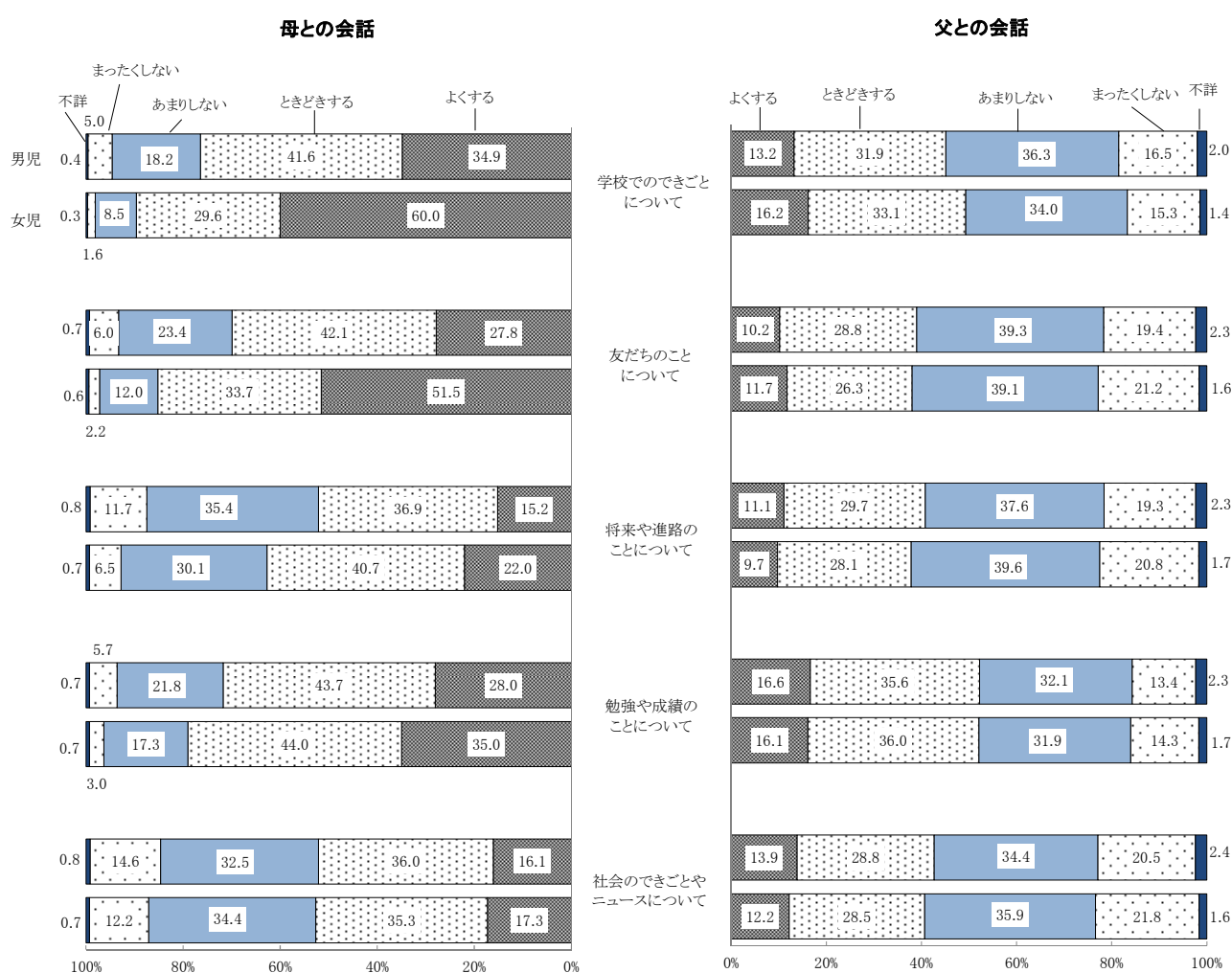
2 家庭での会話の状況

会話を「よくする」と答えた割合は、男児、女児とも会話の内容を問わず、母との会話の方が父との会話より高くなっている

子どもの性別に母、父との会話の状況をみると、会話を「よくする」と答えた割合は、男児、女児とも会話の内容を問わず、母との会話の方が父との会話より高くなっている。

また、会話の内容を子どもの性別にみると、母との会話を「よくする」と答えた割合は、「学校のできごとについて」及び「友だちのことについて」において、男児と女児との間で大きな差がみられる。一方、父との会話の状況をみると、母との会話と比べて、男児と女児の間に大きな差はみられない。(図2)

図2 子どもの性別にみた母、父との会話の状況【第14回調査】



注: 第14回調査の回答を得た者のうち、母・父と同居している者(男児14,922、女児14,100)を集計。

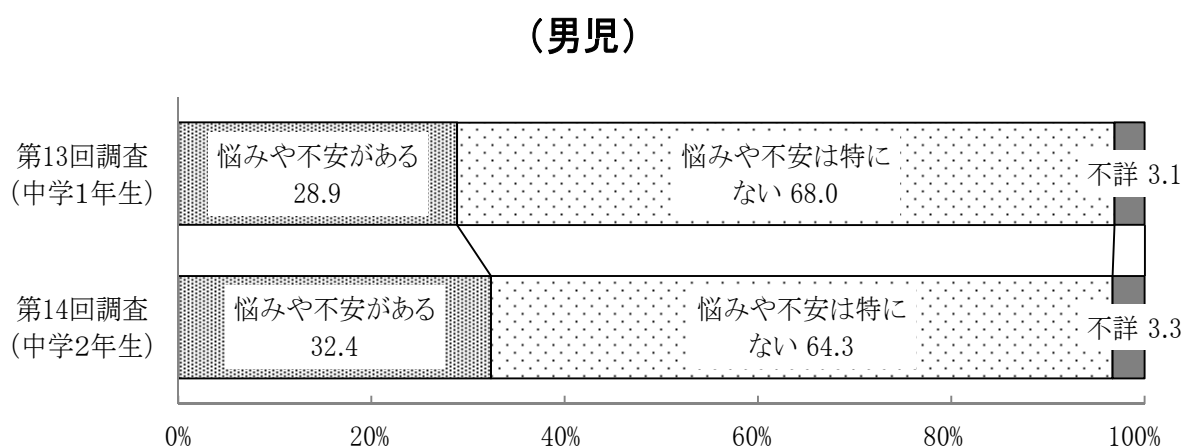
3 子どもが思う悩みや不安

(1) 悩みや不安の有無

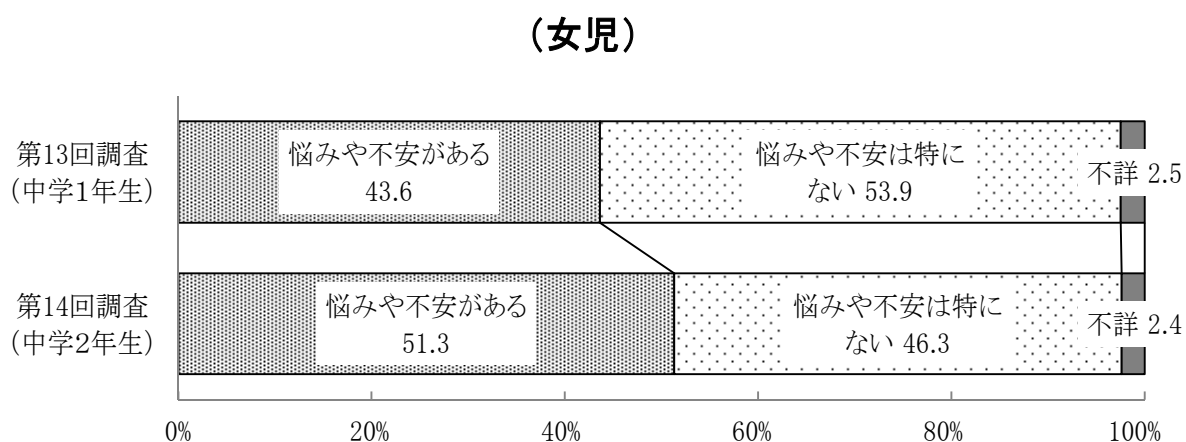
「悩みや不安がある」と答えた女児の割合は、7.7ポイント増加し5割を超えている

子どもが思う悩みや不安の有無について、第13回調査(中学1年生)から第14回調査(中学2年生)の割合の変化を性別にみると、「悩みや不安がある」は、男児は28.9%から3.5ポイント増加し32.4%に、女児は43.6%から7.7ポイント増加し51.3%になり、女児では「悩みや不安がある」と答えた割合が5割を超えている(図3)。

図3 子ども性別にみた子どもが思う悩みや不安の有無の変化



注: 第13回調査と第14回調査の回答を得た男児(総数 14,585)を集計。



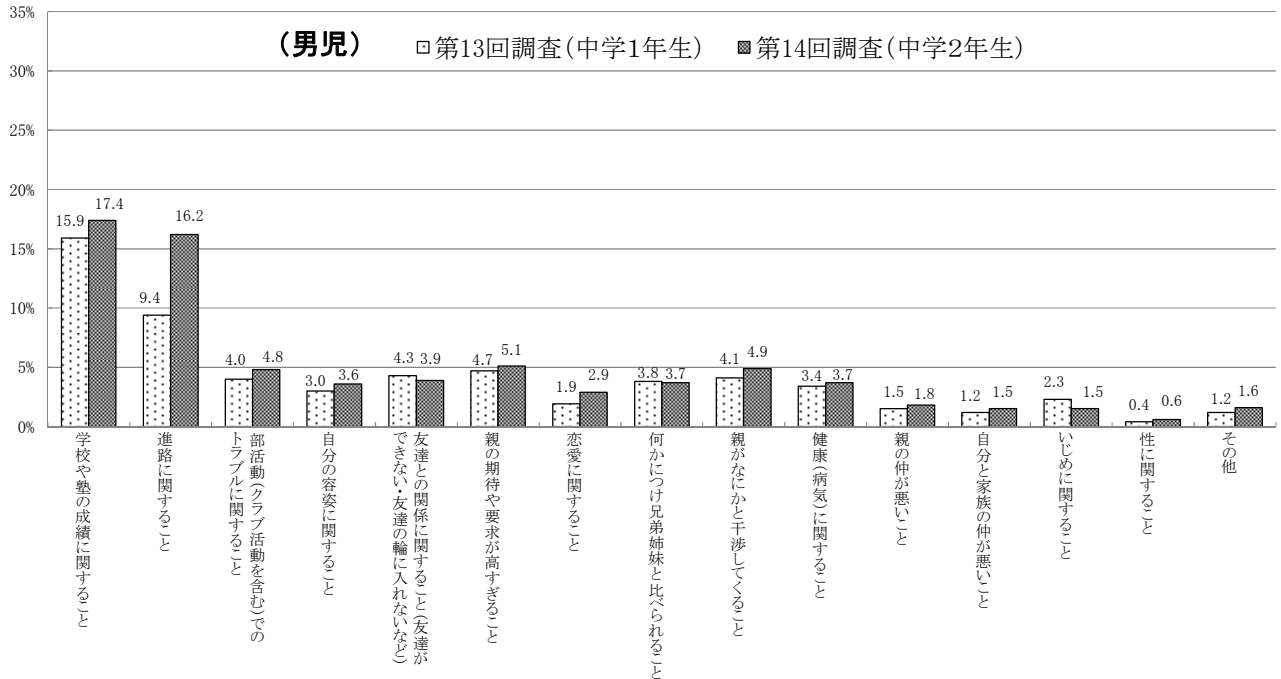
注: 第13回調査と第14回調査の回答を得た女児(総数 13,726)を集計。

(2) 悩みや不安の種類

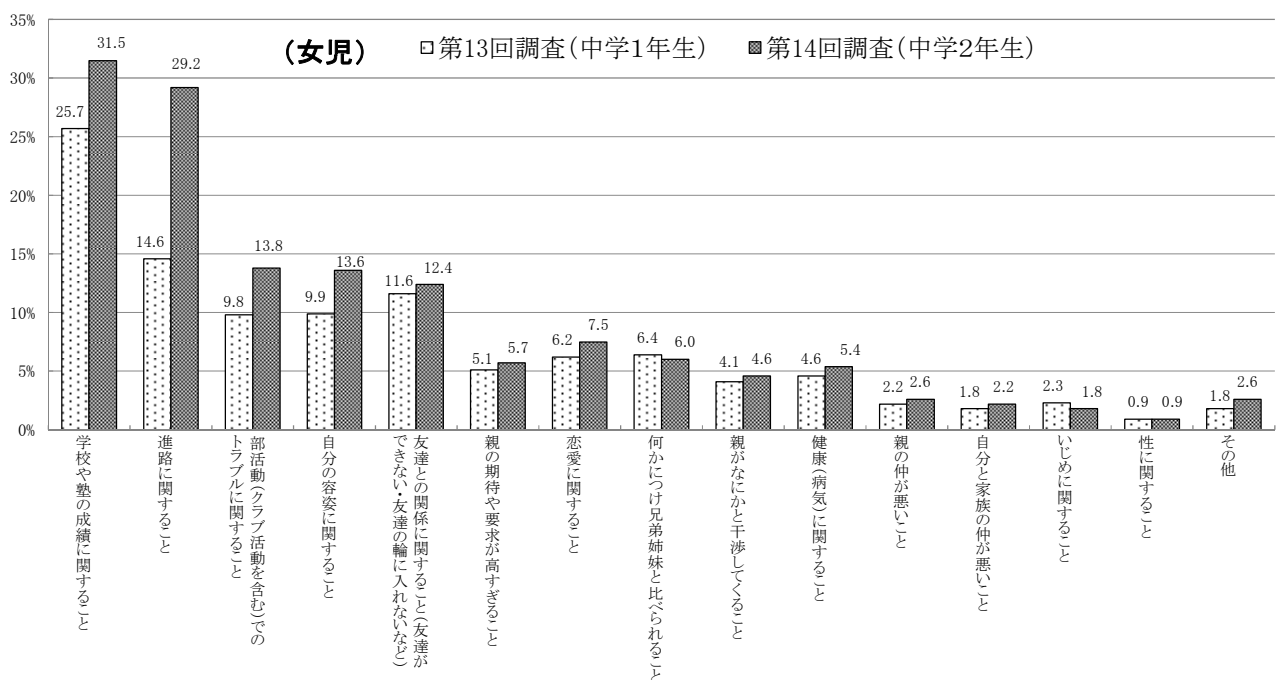
男児、女児とも「進路に関すること」と答えた割合が最も増加している

子どもが思う悩みや不安の種類について、第13回調査(中学1年生)から第14回調査(中学2年生)の割合の変化を性別にみると、男児、女児とも最も変化のあった「進路に関すること」は、男児は9.4%から6.8ポイント増加し16.2%、女児は14.6%から14.6ポイント増加し29.2%となっている(図4)。

図4 子どもの性別にみた子どもが思う悩みや不安の種類の変化(複数回答)



注: 第13回調査と第14回調査の回答を得た男児(総数 14,585)を集計。



注: 第13回調査と第14回調査の回答を得た女児(総数 13,726)を集計。

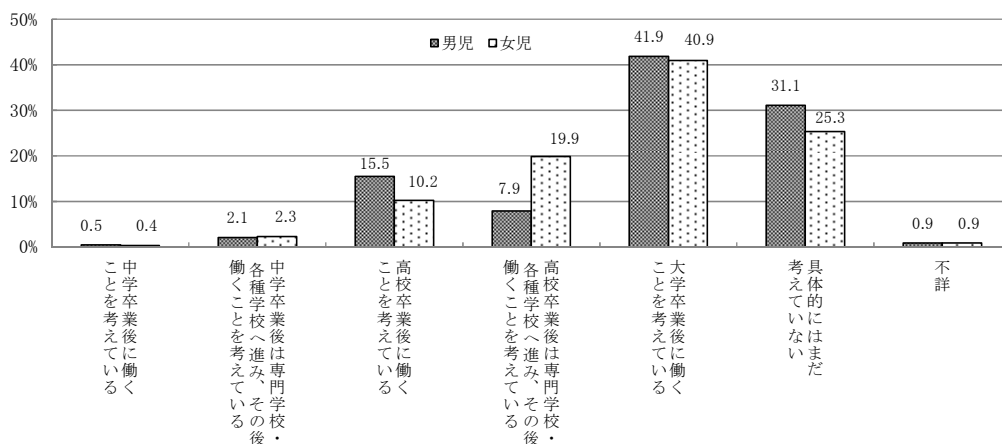
4 子ども自身が考える将来について

(1) 進路

男児、女児とも「大学卒業後に働くことを考えている」の割合が最も高い

子ども自身が考える進路に対する意識を性別にみると、男児、女児とも「大学卒業後に働くことを考えている」が最も高く、次いで「具体的にはまだ考えていない」となっており、以下、男児は「高校卒業後に働くことを考えている」、女児は「高校卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている」の順となっている（図5）。

図5 子どもの性別にみた子ども自身が考える進路に対する意識【第14回調査】



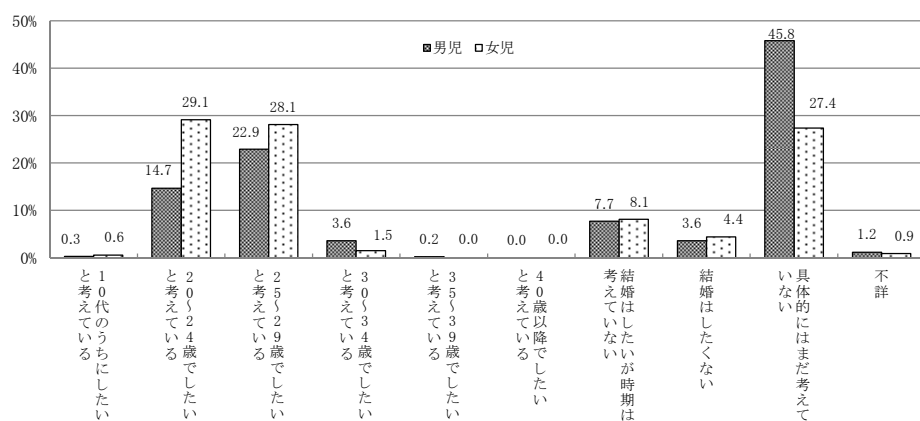
注:第14回調査の回答を得た者(男児15,190、女児14,316)を集計。

(2) 結婚

男児は約半数が結婚を具体的にはまだ考えていないが、女児は約6割が20代で結婚したいと考えている

子ども自身が考える結婚に対する意識を性別にみると、男児は「具体的にはまだ考えていない」が45.8%と最も高く、次いで「25～29歳でしたいと考えている」が22.9%、「20～24歳でしたいと考えている」が14.7%となっており、約半数が「具体的にはまだ考えていない」となっている。一方、女児は「20～24歳でしたいと考えている」が29.1%と最も高く、次いで「25～29歳でしたいと考えている」が28.1%となっており、約6割が20代で結婚したいと考えている。（図6）

図6 子どもの性別にみた子ども自身が考える結婚に対する意識【第14回調査】



注:第14回調査の回答を得た者(男児15,190、女児14,316)を集計。